



# 一村一志

「夢の芽生える文化」創造のプラットホーム  
「八雲志人館」は、将来に向けて持続可能な  
地域を創出することをめざして活動します

てさせました。私は父の膝の上に座り、父はヨーロッパの地図を見せてくれました。『見てごらん、イングリッド。私たち

# 花言葉は 「希望、せう

平和のメッセージをこめて贈られたスノードロップが、日本の上で育ち、意宇川のほとりで間もなく花開こうとしています。

またドイツには、こんな言い伝えもあります。雪には色がありますでした。そこで花たちに色をせんせんと分けてくれるよう頼みました。

松江市八雲町の意宇川ほとりに建つ、水の偉人・周藤彌兵衛翁像の前に、24個のプランターが並べられています。「平和の花」スノードロップが春に花咲こうと、すくすくと育つていてる最中です。

2014年1月23日に開かれたシンポジウム「出雲から陽が昇る2014」のために来日したオランダの芸術家イングリッド・ロレマさんの、「大きな黒い貝殻に入った世界一小さな球根」のプレゼントから始まつた「平和の花」プロジェクトについてご紹介します。

出席した小松電機産業・人間自然科学研究所の小松昭夫代表が、躍動感あふれるズットナー像の美しさに感銘を受け、ロレマさんとの交流が始まりました。小松代表は、その後、カーネギー財団の同意を得て、ズッタナーの2号像、3号像、4号

このにある大きな国はドイツだよ。すぐに君は学校に行くことになり、他の人たちが君の教育に干渉し始めるようになる』：『君が教室にいる時、先生や子どもたちの一人がクラウツ（ドイツ人の蔑称）について話し始めたら、君はすぐに席を立ち、教室を出て、家に帰つてきな

スノードロップ（雪の耳飾り）は、長い冬に耐え、早春の雪の中  
に釣鐘形の白い花を咲かせる「春  
を告げる花」として知られています。  
花言葉は「希望、慰め」。  
ヨーロッパでは古くから親しまれ

が自分の色を雪に分け与えました。そのお礼に雪はスノードロップを守り、スノードロップは、早春の雪の中で一番咲く花となつたのです。やさしいスノードロップは「慰め」の象徴なのです。カトリック教会では、2月2日の聖燭祭（せいしょくさい＝マリアの清めの祝日）にスノードロップ

**友達になるために  
全力を尽くす必要  
がある**

を捨てよ』の作者でもあります。

ロレマさんは彫刻、映像などを制作するビジュアル・アーティストで、女性で初めてノーベル平和賞を受賞したベルタ・フォン・ズットナーの胸像の作者です。ズットナーは、オーストリア・ウィーンに生まれ、アルフレッド・ノーベルの秘書を務め、ノーベル平和賞創設に影響を及ぼした、ヨーロッパでは「平和運動の母」として知られる人物です。第一次世界大戦の勃発を警告した、世界的なベストセラー小説『武器

を捨てよ』の作者でもあります。

友達になるために  
全力を尽くす必要  
がある

2013年、オランダ・ハーグの、国際司法裁判所などが入っている「平和宮」創設10周年記念に、カーネギー財団の発注で制作されたのがズットナーラーの胸像です。その記念式典に

品・ファイギュアなどを展示するプロジェクトを開催し、アートで平和のメッセージを送り、子どもたちへの支援を行っています。ロレマさんの平和活動への原点には、アウシュビツに収容された体験を持つ父親の言葉があります。ロレマさんは著作の中できちんと述べています。

「私は6歳の時に、学校に行きました。父は本棚から地図帳を持った。始めなければなりませんでした。

A close-up photograph of a single white snowdrop flower with its green stem and leaves against a white background.

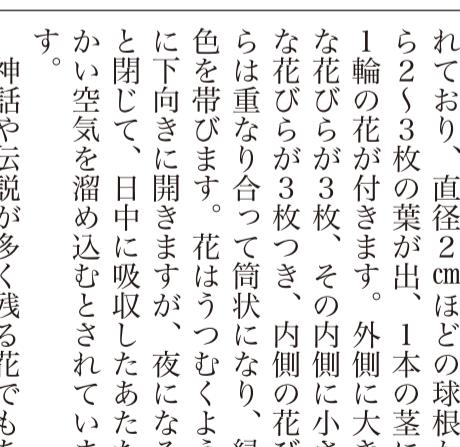
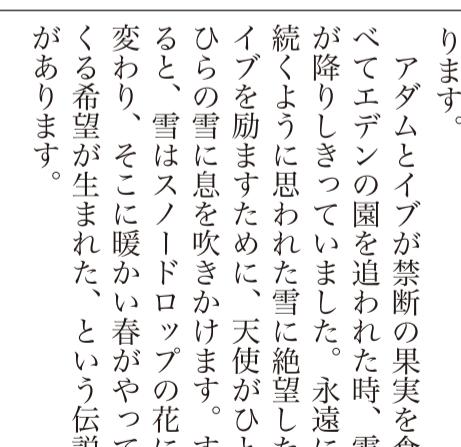
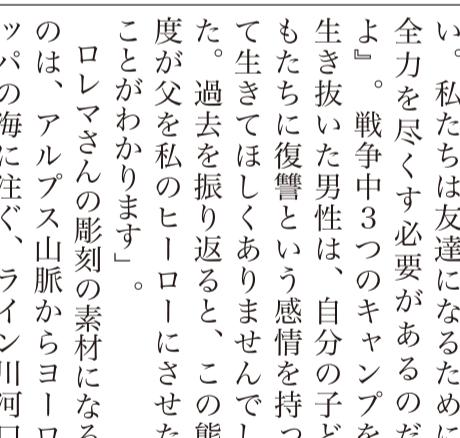
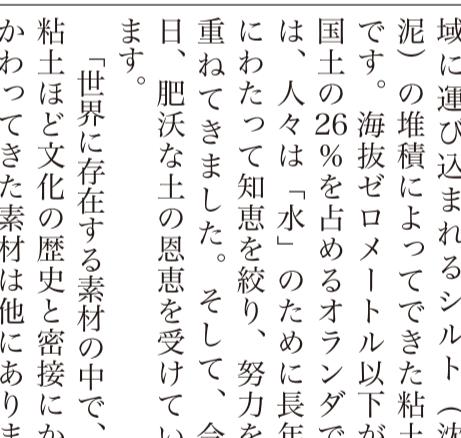
A close-up photograph of a small green plant sprout with two leaves growing from a bed of small, light-colored pebbles in a terracotta pot. The pot is visible at the top and sides.

世界に広めよう これがハ雲  
発の「平和の花 スノードロップ・プロジェクト」です。皆さんも、この輪に入つてみませんか。

（後記）  
「ゆう科学通信」は皆様からのご意見、情報を礎に発信していきます。

ご投稿はメール ファクスで  
お願ひいたします。

（交易場修）



雪にこよなく咲いた。雪の舞う前から開いた、気の早い花も数輪ありました。スノードロップの可憐な花びらが風に揺れるたびに、東洋と西洋、伝統と現代、愛と和がハーモニーを奏で、彌兵衛翁を包み込むようでした。ここで栽培経験を生かし、ヨーロッパから託された平和への誓いをこめて、スノードロップを全

〔後記〕  
「ゆう科学通信」は皆様からの  
ご意見、情報を礎に発信してい  
きます。  
ご投稿はメール、ファックスで  
お願いいたします。

いをこめてスノードロップを全  
国、世界に広めよう。これが八雲  
発の「平和の花 スノードロッ  
プ・プロジェクト」です。皆さん  
も、この輪に入つてみませんか。